

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 5 部門第 2 区分
 【発行日】 平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公開番号】 特開 2002-266916 (P2002-266916A)
 【公開日】 平成 14 年 9 月 18 日 (2002.9.18)
 【出願番号】 特願 2001-67531 (P2001-67531)
 【国際特許分類】

F 1 6 F 1/36 (2006.01)

B 6 0 G 15/06 (2006.01)

F 1 6 F 9/54 (2006.01)

【F I】

F 1 6 F 1/36 F

F 1 6 F 1/36 B

B 6 0 G 15/06

F 1 6 F 9/54

【手続補正書】
 【提出日】 平成 18 年 5 月 9 日 (2006.5.9)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 0 1
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、自動車のサスペンション側のロッドを車体側に連結するための防振ブッシュ構造に関するものである。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 3 1
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 1】

上記した第 1 の実施例においては、下側のゴム部材 (5) を車体側部材 (3) に加硫接着しているが、このほか、図 5 および図 6 に示すように、このゴム部材 (5) を下側のストッパ部材 (7) の上面に対し加硫接着して実施することもできる。この場合も、前記ゴム部材 (5) がストッパ部材 (7) との接着側がやや径小の逆テーパ状に形成され、さらに軸線方向の略中央部に周方向の凹溝 (56) が形成されて、ばね定数が高くなりすぎず、初期荷重に対して柔らかいばね特性を得ることができるよう形成されている。他の各構成、例えば上側のゴム部材 (4) と上側のストッパ部材 (6) とを加硫接着した点、車体側部材 (3) の座面部 (33) の傾斜の点等の他の構成およびその作用効果については、上記した実施例と同様である。